

県尼琴翔会

2023年12月 [年1回発行]

発行

県立尼崎中学・高等学校 同窓会

発行責任者

同窓会長 石井 良昌



「県尼創立100周年

祝賀会」



同窓会会長

石井 良昌

(36回生)

今年、県立尼崎高等学校が創立100周年を迎えます。他に100周年を迎えるのは、関東大震災が起きて100年。ウォルト・ディズニーが兄弟で会社を作った100年目。この県尼の11月3日の100周年の祝賀会には特別出演として、卒業生であります詩吟の宗家山岡哲山先生に詩吟をお願い致しております。山岡哲山先生は尼崎市民芸術賞や兵庫県文化賞、文化庁長官表彰、藍綬褒章受章されております。

またアトラクションとして尼崎市吹奏楽団の団員の中に白石裕憲氏が県尼卒業生としてひとときわ脚光を浴びております。この尼崎市吹奏楽団は昭和39年に音楽を通じて市民文化の向上を図ることを目的に設立。これまでに関西を代表して全日本吹奏楽コンクールに31回出場し、2度の準優勝および16回の金賞を受

賞。名実ともに尼崎市を代表するバンドとして市民に親しまれています。

海外においても、第1回シドニー・オペラハウス国際音楽祭にて金賞を受賞(1990年)。その他香港、オーストラリア、スイス、ニュージーランドにて演奏会を行い、特に1994年7月のシドニー・オペラハウス特別演奏会では、音楽を通じて国際親善を行い、成功を収めるなど、国内外において幅広い活動が高い評価を得ています。こういった2人の卒業生を扇の要として紹介したいと考えておりますので、お楽しみいただきたいと思います。県尼の創立100周年記念事業として体育館内の緞帳等を新調することにいたしました。より良い環境の中で現役生徒の皆さんがさまざまな教育活動に励み、活躍することを期待しています。最後になりましたが、本校の多くの卒業生の中には日本のまた地域のリーダーとして活躍されている方が多くおられます。これも偏に歴代の校長先生をはじめ教職員の方々の皆さまでのご指導とご尽力の賜物と深く感謝いたしております。今後とも県尼の素晴らしい歴史と伝統を引き継ぎ守っていきたいと思います。特に創立100周年記念事業実行委員会の関係者の皆さまでに改めて感謝を申し上げます。

「ご挨拶」



県立尼崎高等学校

校長 水嶋 正稔

今春の異動により、母校である県立出石高等学校から本校に着任いたしました。どうぞよろしくお願ひします。伝統のあるこの県立尼崎高等学校にご縁をいただきましたことを大変嬉しく思っております。同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。とりわけ今年度は本校百周年記念式典をはじめ関連事業を実行委員会の皆様を中心に進めていただいておりますこと重ねて感謝申し上げます。

過去三年間コロナ禍に見舞われ、従来行っていた教育活動ができなくなりました。そんな中でも歩みを止めることなく、創意工夫を加え学習活動や諸行事が進められてきました。決して油断はできないものの、感染症の五類移行を機に様々な制約も少なくなり、学校行事を重ねる度に生徒の表情の明るさも増していると感じています。

さて、いよいよ創立百周年記念式典が兵庫県知事をはじめとする多数のご来賓の皆様ご臨席のもと挙行されます。また同窓会の皆様のお力により記念誌が出版され、記念の品として体育館の綴帳一式も新調していただきました。こうした一連の記念事業準備のため、これまでの記念誌や関係者の皆様のご寄稿などを目にする機会が多くなりました。一貫して感じるのは教職員、保護者、同窓・地域の皆様の本校並びに生徒に向けられる愛情の深さと在籍した生徒や勤務した教職員が持つ誇りです。一世紀の間、社会の大きな変化の中で、学校の形態や学校に求め

られるものは変わっても、縁を結んだ多くの方々が寄せる愛情と心に刻まれた誇りは、百年の歴史を貫き、本校を支える大きな柱となっています。

周年行事と並び、今年度は校舎・施設の長寿命化工事（屋上防水・外壁修繕・トイレ改修など）と県教育委員会の教育改革によるコースから普通科新学科への改編を進めています。創立百周年を大きな節目としつつ、次の十年、百年に向けて、地域に愛され続ける魅力ある学校づくりを進めていく所存です。同窓会の皆様には引き続き母校を温かく見守り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

「県尼100周年に思う」



県立尼崎高等学校

教頭 佐々木 豊

兵庫県立尼崎高等学校同窓会員の皆様、この度は創立100周年おめでとうございます。昨年4月、本校に着任して以来、実行委員会の皆様方とともに準備に当たってまいりました創立100周年記念式典を滞りなく催すことができ、少し胸をなで下ろしております。また、この度の周年行事にあたり、同窓会から物心両面にわたり支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

創立100周年記念事業の一環として本年5月に、平成20年度から始まった「教育総合類型」、それを継承する形で平成26年度から始まった「教育と絆コース」に関する座談会を開催いたしました。「尼崎の子どもが教師になって尼崎の子どもの教育する」という目標を掲げ、類型で6年間、コースとして10年間の合

計16年間にわたって本校が取り組んできた類型、コース創設にかける思いを当時の校長先生、学年主任、副主任、学級担任を経験された先生方、そして卒業して公立高校教員となり、夢を叶えた類型1期の卒業生などに集まっていたいただき、語り合っていたいただきました。話を聞いているだけで、当時の先生方や生徒たちが手探りしながら、新しい類型、コースを作り上げていった様子が生き生きと伝わってまいりました。

この座談会の詳細は、創立100周年記念誌に掲載されておりますので、そちらをご覧いただくとして、私が感じたのは、「わずか16年遡るだけでも、これだけの偉業を成し遂げてきた県尼が、この100年の間にどれだけの歴史を積み重ねてきたのだろう」ということでした。

もちろん、野球部やラグビー部の活躍など、記事として残されているものも多数あります。しかし、1つの学年の1つの行事、1つの教科の1時間の授業、文化祭での1つのクラスの舞台発表、……。それぞれの中にドラマがあり、そうした歴史が100年積み重なって、今があるのだということを感じさせられました。我々はその全てを知ることとは不可能だと思います。でもお一人お一人の同窓生の皆様の心の中にある歴史が、こうした機会に蘇って短い時間でも共有できたなら、素晴らしいことではないでしょうか。

100年前の大正12年は関東大震災の起こった悲しい年として歴史に刻まれております。令和5年は、阪神タイガースとオリックス・バファローズの関西2球団がダブル優勝した歓喜の年として歴史に残ることでしょう。

この間に県尼で積み重ねられた喜怒哀楽に思いを致しつつ、県尼は次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出そうとしています。地域での学びを通して、地域を支える人材を育てる新学科を作ろうとしているところです。同窓生の皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

創立100周年
記念式典

令和5年11月3日

アルカイクホール



受付風景



松本尼崎市長



齋藤兵庫県知事



水嶋学校長



石井実行委員長



記念行事



尼崎市吹奏楽団



高岡実行副委員長より記念品贈呈



創立100周年 記念祝賀会

令和5年11月3日

都ホテル尼崎

祝賀会 式次第

司会 ヨッシー原本

（原本芳男 四十三回生・あんがいおまる一座）

◎黙禱

◎開会のことば

◎挨拶

◎吟詠・祝歌

◎校歌・応援歌演奏

◎乾杯

◎歓談・会食

◎恩師紹介

◎万歳三唱

◎閉会のことば

上野晃司 祝賀会実行委員長

石井良昌 同窓会会長（記念事業実行委員長）

水嶋正稔 校長

山岡哲山氏（山岡伸行 三十二回生）

尼崎市吹奏楽団

大坂智也 PTA会長（記念事業実行副委員長）

高岡久 同窓会副会長（記念事業実行副委員長）



水嶋 正稔 校長



石井 良昌 同窓会会長



司会 ヨッシー 原本



開会のことば 上野 晃司



山岡 哲山 氏

祝歌

吟道哲山流宗家

山岡 哲山（三十二回生）

兵庫県立尼崎高等学校
創立百周年を祝いて

菊薫る爽籟の秋創立の

百周年めでたかりけれ

吹き来る琴の音刻む盛典を

鶴亀集い弥栄禱る

名門を雄獅子の如く継ぎきて

永久の栄光言祝ぎまつる

令和五年十一月三日





校歌斉唱



尼崎市吹奏楽団



応援歌熱唱



大坂PTA会長 乾杯



歓談



閉会のことば 高岡 久 同窓会副会長



恩師紹介

「祝賀会報告及びお礼」

創立百周年祝賀会
実行委員長

上野 晃司

初めに、創立百周年記念事業を行うに当たり、基金・年会費の納入及びご祝儀を頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。総額10、453、409円（11月末現在）となり、記念誌の発行、体育館舞台緞帳の新調、記念碑建立、記念グッズ代等に充てさせて頂きました。まだ残務整理中のため、収支報告は残務整理終了次第、同窓会ホームページに掲載させて頂きます。

また、式典・祝賀会にご出席賜りました皆様にも、重ねてお礼申し上げます。

式典・祝賀会は令和5年11月3日（金曜日・祝）に挙行することができました。式典は百周年という大きな節目に相応しく、兵庫県知事斎藤元彦様にご出席を賜り、厳粛に行われ、恙なく終えることができました。

また、祝賀会は「吟道哲山流宗家」山岡哲山（32回生）様に祝歌（県尼創立百周年を祝いて）を吟詠して頂き、続いて尼崎市吹奏楽団様の演奏で校歌・応援歌（熱風）を久しぶりに声高らかに歌いました。出席者一同が、母校の百周年を祝うとともに、終始和やかな雰囲気に含まれながら旧交を温めることもでき、さらに百十周年に向けての新たな一歩を踏み出すことができました。

百周年記念誌の原稿や記事等を募集した折に、千葉県在住の伊藤慶二（22回生）様より、1947年の全国中等サッカー選手権大会において、準優勝をした時の集合写真と新聞記事を送って頂きましたが、記念誌に掲載することができなかった為、この会報に掲載させて頂きました。伊藤様ありがとうございました。

この様に、記念事業を無事に終えることができましたのも、教職員・PTA・同窓会合同の実行委員としてご尽力賜りました皆様のお陰と存じます。紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

私事ですが創立百周年という記念すべき時に、祝賀会実行委員長として立ち会えたことを、大変喜ばしく、誇りに感じています。思い返せば、昭和42年に入学（43回生）、45年に卒業後も、母校の鳥取県東浜海岸での臨海学校・黒姫高原でのスキー修学旅行に助手として、また部活動（サッカー部）の指導や教育実習と県

尼との繋がりを深めていきました。大学卒業後は新任教員として4年間務めさせて頂き、恩師の



方々と机を並べ、教師としての多くのご指導を賜ったことで、その後の教員生活の大きな礎を築くことができました。母校そして恩師の方々への感謝の気持ちで一杯です。今後同窓会役員として、母校へ恩返しできればと思います。

最後になりますが、今後とも同窓会活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

Topics

男子バレーボール部

大会結果 ベスト8

(令和5年度 近畿高等学校バレーボール優勝大会出場)

第67回兵庫県高等学校総合体育大会バレーボール競技
兼令和5年度全国高等学校総合体育大会
バレーボール競技兵庫県予選大会

近畿大会結果

| | | |
|------|-------|--------------|
| 本校 0 | 12-25 | 2 鳥羽 (京都) |
| | — | |
| | 20-25 | |

男子バレーボール部顧問 原田 高之

本校男子バレーボール部が近畿大会に出場したのは40～50年ぶりと聞きます。生徒の懸命な頑張りはもちろんですが、保護者の方々、先生方、本校生のみなさん、OBの方々等のサポートがなければこの結果は得られなかったと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。この貴重な体験を糧に、今後とも精進します。引き続き応援方よりしくお願いいたします。



男子バレーボール部 高田 倫太郎

近畿高等学校バレーボール優勝大会には多くの学びがありました。各チームのプレーの質の高さ、コート外での行動の速さ等驚きの連続でした。貴重な機会を与えてくださった保護者や先生方、友人、OBの方々には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

生徒の善行について

五月の中旬、校長宛に一通の手紙が届きました。ご高年齢の女性からでした。公式戦の帰路にあった本校男子バスケ部バレー部の生徒に親切にしてもらい、感謝の気持ちを生徒に伝えていただきたいという内容でした。

当日午後、神戸市内の駅構内で急に気分が悪くなり、体調がどんどん悪化し、そばの階段に倒れるように横たわっていました。すると二人の若い男性が近寄り、「大丈夫ですか」「お水を飲みますか」と声をかけ、さらにペットボトルの水を買ってきて「どうぞ」と差し入れてくださいました。もう一人も「大丈夫ですか」と声をかけ、ジュースを買って差し入れてくださいました。(要約)

このような状況での生徒の対応に嬉しくて思わず涙が出てしまったそうです。

いただいたお手紙は「貴校の二人の生徒さんのご親切、やさしさ、とっさの行動も今も心にあり、しつとりと幸せな気持ちにつつまれています。ありがとうございます。嬉しいです。二人の生徒さんの将来が明るい人生でありますよう祈ってやみません」という言葉で結ばれていました。

私自身も大変嬉しく、心洗われる思いに至り、まず部員二名にいただいたお気持ちを伝えました。職員会議で教職員に、全校集会で生徒にもこのことを伝えました。

女性は一立の伝統校ご出身で、同じく伝統のある本校に何か近いものを感じたと記されていました。着任早々、本校生徒の素晴らしさ、「県尼」の良さを強く感じる出来事でした。

県立尼崎高等学校 校長 水嶋 正稔



兵庫県立尼崎高等学校 同窓会 常任理事

| 役職 | 回生 | 氏名 | 役職 | 回生 | 氏名 | 役職 | 回生 | 氏名 |
|------|----|--------|------|----|--------|-----------|-----|-------|
| 会 長 | 36 | 石井 良昌 | 常任理事 | 39 | 久保 恭利 | 常任理事 | 55 | 林 久博 |
| 副会長 | 31 | 高岡 久 | 常任理事 | 42 | 井上 正夫 | 常任理事 | 61 | 木村 泰三 |
| 副会長 | 34 | 室津 晴美 | 常任理事 | 42 | 西本 義正 | 常任理事 | 61 | 近藤 教敏 |
| 理事長 | 43 | 上野 晃司 | 常任理事 | 44 | 澤田 勝 | 常任理事 | 62 | 高橋 剛 |
| 会 計 | 57 | 下境田 耕治 | 常任理事 | 45 | 前田 雅孝 | 常任理事 | 64 | 越山 裕之 |
| 会 計 | 49 | 樽井 敬明 | 常任理事 | 47 | 津田 加寿男 | 常任理事 | 70 | 佐川 昌伸 |
| 監 査 | 36 | 池邊 善夫 | 常任理事 | 48 | 有田 亨 | 常任理事 | 定13 | 比嘉 芳子 |
| 監 査 | 42 | 大西 俊樹 | 常任理事 | 51 | 山中 潤一 | 常任理事 | 定8 | 合田 正人 |
| 参 与 | 23 | 大附 多美子 | 常任理事 | 51 | 黒川 治 | 顧問・学校長 | | 板羽 茂雄 |
| 参 与 | 36 | 柴田 侃一 | 常任理事 | 51 | 丸岡 鉄也 | 相談役・教頭 | | 佐々木 豊 |
| 常任理事 | 32 | 中川 敏行 | 常任理事 | 53 | 大内 一浩 | 相談役・事務長 | | 岩川 真美 |
| 常任理事 | 33 | 北村 保子 | 常任理事 | 53 | 富永 謙一 | 校内理事・常任理事 | 52 | 中野 裕司 |
| 常任理事 | 35 | 田村 信子 | 常任理事 | 53 | 中川 まゆみ | 校内理事 | 62 | 楠田 貴至 |

令和5年度 人事異動一覧表

| 転入者 | 職名 | 氏名 | 転出者 | 職名 | 氏名 |
|-----|-----------|--------|-----|--------------|-------|
| | 校 長 | 水嶋 正稔 | | 校 長（再任用） | 板羽 茂雄 |
| | 教 諭 | 川村 彩花 | | 指導主事 | 瀧口 梓 |
| | 教 諭 | 高橋 秀興 | | 教 諭（再任用） | 佐藤 文彦 |
| | 教 諭 | 佐藤 愛美 | | 教 諭（再任用） | 竹川 淳 |
| | 教 諭 | 岡田 義則 | | 主幹教諭 | 建川 直規 |
| | 教 諭 | 半沢 拓実 | | 教 諭 | 中野 佳和 |
| | 教 諭 | 大矢 浩子 | | 教 諭 | 能勢 美穂 |
| | 養護教諭 | 富永 芙弥香 | | 養護教諭 | 富田 操 |
| | 臨時講師 | 人見 彩夏 | | 教 諭 | 山本 真紀 |
| | 臨時講師 | 有岡 俊弘 | | 教 諭 | 山口 勇輝 |
| | 臨時講師 | 吉田 真希 | | 臨時講師 | 伊藤 大 |
| | 事務室 事務長 | 熊谷 久男 | | 臨時講師 | 河野 泰英 |
| | 事務室 主 任 | 門田 健二 | | 臨時講師 | 澤 千尋 |
| | 事務室 臨時校務員 | 加藤 みち子 | | 事務室 事務長（再任用） | 岩川 真美 |
| | | | | 事務室 事務職員 | 春元 琴子 |
| | | | | 事務室 臨時校務員 | 佐藤 達也 |

【事務局よりのお知らせ】

- ① 県尼も100周年を終えて次の時代に進むことを目標にデジタル時代を鑑み、会報の紙媒体は今号にて最終に次号よりホームページにのみ掲載いたします。皆様もこれ以降はホームページをより活用して頂きますよう切にお願いいたします。
- ② 100周年記念誌を販売させていただきますので、ご希望の方は2024年1月末までに、会報に記載しております事務局担当者へご連絡いただき、下記の口座にお振込みください。ご入金確認ができ次第、発送させていただきます。
価格：4,000円（送料込み）

尼崎信用金庫（長洲支店） 店番：004 口座番号：4101975
口座名：兵庫県立尼崎高等学校創立100周年記念事業実行委員会 委員長 上野晃司

編集委員 | 高岡 久（委員長）・柴田 侃一・池邊 善夫
大西 俊樹・井上 正夫・上野 晃司

印 刷 | 有限会社 アイプリント
尼崎市西難波町4丁目2-9 tel 090-6987-7386

編集後記

今回は、11月3日に開催の県尼創立100周年記念式典および祝賀会中心に速報として纏めました。
式典はアルカイクホールにて、知事・市長はじめ来賓・在校生・歴代校長・OB・他関係者およそ1,000名出席の下、厳かに実施されました。祝賀会は都ホテル尼崎にて、詩吟宗家の山岡哲山氏（32回生）による100周年を祝う格調高い吟詠、続いて尼崎市吹奏楽団による演奏で校歌・応援歌を声高らかに合唱し、お互い在校当時から蘇り、一段と盛り上がりました。式典及び祝賀会に参加して、県尼の積み重ねられた歴史の深さ、重さを共感し、創立100年と言う偉大なる節目に皆様と共に祝杯を挙げている事に感謝、感激致しました。
そして、愈々次なる100年に向けて第一歩を踏み出すことになります。「文武両道で誰もが憧れる魅力ある名門県尼」に着々と進化発展していくことを願っています。また、OBの皆様も、生涯に亘り県尼への応援・ご支援をお願い申し上げます。
おわりに
細部に亘る行き届いた企画・進行で、準備委員会・実行委員会の方々には厚く御礼申し上げます。